



第227号 令和5年(2023年)2月20日

市議会だより

■主な内容

10月臨時議会の概要	2
12月定例議会の概要	3
議会報告会	11
議員定数削減	12
市政への提言	13

議会報告会

10月17日に、3年ぶりとなる対面での議会報告会を開催しました。各委員会から所管事務調査事項の報告をさせていただくとともに、ご参加いただいた市民の皆様から、貴重なご意見を伺うことができました(P11参照)。



4月23日の市議会議員選挙から 議員定数を32人から28人に削減します

詳細はP12を参照してください

市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のホームページをご覧ください

鈴鹿市議会

検索

<https://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>



10月臨時議会の概要

原油価格・物価高騰対策に係る 令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算（第5号）を可決

10月臨時議会を、10月17日に開催しました。

まず、「令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算（第5号）」の議案が市長から提出され、提案説明の後、質疑を行い、提出議案を予算決算委員会に付託し、議案の審査を行いました。その後、予算決算委員長から付託議案について審査結果の報告があった後、採決の結果、可決しました。

最後に、11月23日までを休会とすることを決定し、散会しました。

委員会での主な議案審査状況

予算決算委員会

予算の審査は、地域福祉分科会において、詳細な審査を行いました。

地域福祉分科会



10月17日

議案第58号 令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)

価格高騰緊急支援給付金の給付について

- 価格高騰緊急支援給付金給付費 9億円
- 価格高騰緊急支援給付金給付事務費 2,140万円

【概要】 電力・ガス・食料品などの価格高騰による負担増を踏まえた住民税非課税世帯および家計急変世帯に対して「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」を給付するもの。

質疑 通知が届かず、今回の支援事業に気付かない対象者に対して、どのように周知していくのか。

答弁 住民票を変更せずに住所異動をしている場合は、申請書が宛所不明で返送されるため、広報すずかや市ホームページにおいて、支援事業内容などの周知をしている。今後も、全対象者に情報が行き届くような周知方法を検討していく。

議決一覧（10月臨時議会）

10月臨時議会に上程された議案は、全会一致で可決しました。

議案第58号

令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第5号)

12月定例議会の概要

原油価格・物価高騰対策をはじめとした 令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算（第6号）など22議案を可決

12月定例議会を、11月24日から12月21日までの28日間の期間で開催しました。

まず、初日の11月24日には、議員定数及び報酬検証特別委員長から調査結果の報告がありました。次に、「令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算（第6号）」の議案が市長から提出され、提案説明の後、提出議案を予算決算委員会に付託し、議案の審査を行いました。その後、予算決算委員長から付託議案について審査結果の報告があった後、採決の結果、可決しました。続いて、「令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算（第7号）」など18件の議案が市長から提出され、提案説明が行われました。

12月2日には、提出議案に対する質疑を行い、2日、5日、6日、7日、8日には、19名の議員が一般質問を行いました。

8日には、議案18件を各委員会に付託しました。また、「インボイス制度（適格請求書等保存方式）の再考を求める請願書」の請願を総務委員会に付託しました。

8日、12日、13日、16日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の21日には、各委員長から付託議案について審査結果の報告があり、2名の議員が討論を行った後、採決の結果、議案18件はいずれも可決しました。次に、請願について総務委員長から審査結果の報告があり、3名の議員が討論を行った後、採決の結果、不採択としました。続いて、「令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算（第8号）」の議案が市長から追加提出され、提案説明の後、提出議案を予算決算委員会に付託し、議案の審査を行いました。その後、予算決算委員長から付託議案について審査結果の報告があった後、採決の結果、可決しました。次に、委員会発議案2件が提出され、提案説明を行い、委員会発議案第5号に対して3名の議員が討論を行った後、採決の結果、委員会発議案2件はいずれも可決しました。

最後に、2月20日までを休会とすることを決定し、散会しました。

各委員会での主な議案審査状況

産業建設委員会

議案第73号 指定管理者の指定について



12月12日

労働福祉会館の次期指定管理者の選定について

【概要】 鈴鹿市労働福祉会館における現在の指定管理者の指定の期間が令和5年3月31日に満了することから、令和5年4月1日から令和10年3月31日までの期間の指定管理者を指定しようとするもの。

質疑 指定管理者となる団体の選定に当たり、どのような議論がなされたのか。

答弁 公の施設の指定管理者選定委員会による答申では、築後40年を経過していることから老朽化対策が課題であるとの指摘があった。また、指定管理者を公募した結果が1社のみ応募であったことから、当該団体が指定管理者の候補者として適切であるかの審査が行われ、総合ビル会社としての経験およびノウハウを持つことから、適切な維持・保守が期待できると評価され、選定に至った。

総務分科会

議案第60号 令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第7号)



12月13日
(午前)



12月13日
(午後)

救急活動に必要な資機材の確保について

○救急活動費／事務費 331万3,000円

【概要】 救急およびコロナ感染による搬送件数の増加に伴いディスプレイ資機材の使用も増えているため、一般・高度救急資機材消耗品および薬品を補充するもの。

【質疑】 「ディスプレイ」とはどのような意味で、どのような資機材があるのか。

【答弁】 「使い捨て」という意味で、マスク、不織布のガウン、シューズカバー、ビニール製のグローブ、ストレッチャーカバーなどがある。

文教環境分科会

議案第60号 令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第7号)



12月12日

河曲小学校屋内運動場の整備について

○河曲小学校施設整備費／屋内運動場 2,160万9,000円

【概要】 河曲小学校屋内運動場の改築を行うに当たり、学校敷地内にある国有地の払い下げを受けた後に開発行為の許可を受ける必要があるなど、設計、用地取得に要する経費を計上するもの。

【質疑】 国有地が残存していたということだが、どのような経緯だったのか。

【答弁】 土地の買い足しなどにより、学校の規模が大きくなる中で、土地の整理が保留になっていた部分に国有地が残存していた。

地域福祉分科会

議案第60号 令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第7号)



12月13日

公立幼稚園における保育環境などの充実について

○幼稚園運営費／備品購入費 225万9,000円

【概要】 令和5年度から国府幼稚園、玉垣幼稚園で3歳児保育を試行することに伴い、給食の提供に必要なコンテナや3歳児用机などの備品を購入するもの。

【質疑】 令和5年度の公立幼稚園における3歳児の入園予定者数は何名か。

【答弁】 国府幼稚園、玉垣幼稚園で3歳児を受け入れるが、それぞれ20名の定員に対して、各園20名の合計40名が入園予定である。

その他の分科会

議案第59号 令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第6号)

原油価格・物価高騰対策などについて



総務分科会
11月24日



文教環境分科会
11月24日



地域福祉分科会
11月24日



産業建設分科会
11月24日

議案第78号 令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第8号)

出産・子育て応援交付金について



総務分科会
12月21日



地域福祉分科会
12月21日

詳細は動画(YouTube)をご覧ください。

討 論 (要旨)

討論は議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。

<議案第60号～議案第77号について>

諸 派 (日本共産党) **高橋 さつき 議員**

市民の声 **中西 大輔 議員**

議案第62号に反対 その他議案は賛成

個人情報保護の全国共通ルール化は、個人情報保護から利活用に転換し、企業のもうけのタネにする。個人のプライバシーと地方自治の侵害、国民生活への影響、利益誘導・官民癒着の拡大などの問題がある。



全議案に賛成

議案第65号鈴鹿市職員給与条例等の一部改正で約1億円の人件費増は厳しいが、若い世代の給与増と初任給増の部分を尊重。ただし、地域手当を市の現状と他市比較し、客観的に妥当な割合に見直すよう期待し賛成。



<委員会発議案第5号について>

れいめい **矢野 仁志 議員**

市民の声 **田中 淳一 議員**

委員会発議案第5号に反対

本議会は議員定数削減をこの規模で行う必要はなく、多様な民意をくみ取り議論ができる現在の人数32人を維持すべきである。二元代表制そのものが機能不全に陥り、不幸になるのは市民であることを懸念している。



委員会発議案第5号に賛成

これまでの常識や慣習にとらわれず「豊かで持続可能な社会」に向けて新しいことにチャレンジする姿勢が重要であり、4人削減することで議会費が抑制され、貴重な財源を市民サービス向上に活用いただきたい。



公 明 党 **船間 涼子 議員**

委員会発議案第5号に賛成

基本条例に基づき、人口・面積・財政力および事業課題・将来予測と展望などを検証。本市の財政状況は一段と厳しく、議員自ら身を切る改革が必要。公明党は定数4人減を提案し、この条例案に賛成を表明する。



委員会発議案第5号「鈴鹿市議会議員定数条例の一部改正について」の詳細は、採決の結果や適用時期、議員定数及び報酬検証特別委員会の調査報告内容なども含めて、12ページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

< 請願第5号について >

鈴鹿太志会

平野 泰治 議員

請願第5号に賛成

現状でのインボイス制度の導入は、消費税免税事業者である、中小・零細事業者の経営を困難にし、地域経済の疲弊を招く。経営破綻の懸念のない制度に再考を求める意見を国に提出するのは、市議会の責務である。



自由民主党
鈴鹿市議団

桐生 常朗 議員

請願第5号に反対

制度の導入には、小規模事業者などが不利益を被らないよう実効性のある対策が必要な一方、税の透明性や公平性の観点から制度の導入自体は必要であると考えます。制度の中止などを求める本請願は不採択とすべき。

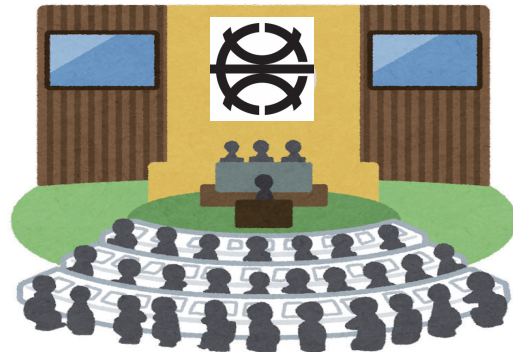


公明党

池上 茂樹 議員

請願第5号に反対

インボイス制度は、消費者などが支払った税額を正しく国に納めるために導入される制度であり、税の公平性・透明性の上から必要な制度である。修正案を請願者に提示したが受け入れられなかった。



議決一覧（12月定例議会）

【○：賛成 ×：反対】

議案 など	会派名 ()は所属議員数	新緑風会 (5)	れいめい (5)	自由民主党 鈴鹿市議団 (5)	市民クラブ (3)	鈴鹿太志会 (3)	公明党 (3)	市民の声 (3)	諸(日本共産党) 派(2)	議決結果
議案第59号	令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	11/24 原案可決
議案第60号	令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21 原案可決
議案第61号	令和4年度鈴鹿市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第62号	鈴鹿市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	//
議案第63号	鈴鹿市議会議員及び鈴鹿市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第64号	鈴鹿市職員給与条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第65号	鈴鹿市職員給与条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第66号	鈴鹿市職員退職手当支給条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第67号	指定管理者の指定について(鈴鹿市河川防災センター外7施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第68号	指定管理者の指定について(白子駅東自転車駐車場外2施設)	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第69号	指定管理者の指定について(鈴鹿市白子コミュニティセンター)	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第70号	指定管理者の指定について(鈴鹿市神戸コミュニティセンター)	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第71号	指定管理者の指定について(鈴鹿市合川コミュニティセンター)	○	○	○	○	○	○	○	○	//

(次ページに続く)

(前ページから続く)

議案 など	会派名 ()は所属議員数	新緑風会	れいめい	自由民主党 鈴鹿市議団	市民クラブ	鈴鹿太志会	公明党	市民の声	諸派 (日本共産党)	議決結果
		(5)	(5)	(5)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	
議案第72号	指定管理者の指定について(鈴鹿市牧田コミュニティセンター)	○	○	○	○	○	○	○	○	12/21 原案可決
議案第73号	指定管理者の指定について(鈴鹿市労働福祉会館)	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第74号	指定管理者の指定について(鈴鹿市伝統産業会館)	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第75号	指定管理者の指定について(鈴鹿市鼓ヶ浦駐車場)	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第76号	指定管理者の指定について(鈴鹿市千代崎駐車場)	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第77号	三重県市町総合事務組合規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	//
議案第78号	令和4年度鈴鹿市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	//

※ 議案第59号採決時(令和4年11月24日)の市民クラブの所属議員数は4人になります。

委員会発議案 第5号	鈴鹿市議会議員定数条例の一部改正について	○	※1	○	○	○	○	○	○	12/21 原案可決
委員会発議案 第6号	鈴鹿市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	//

※1 南条雄士議員、市川哲夫議員は賛成。矢野仁志議員、池田憲彦議員、田中通議員は反対。

請願第5号	インボイス制度(適格請求書等保存方式)の再考を求める請願書	×	×	×	○	○	×	×	○	12/21 不採択
-------	-------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	--------------

議長は原則として採決に加わりません。

会派等構成員一覧

新緑風会	◎河尻 浩一 大杉 吉包 山口 善之 宮本 正一 山中 智博	◎河尻 浩一 大杉 吉包 山口 善之 宮本 正一 山中 智博
れいめい	◎南条 雄士 矢野 仁志 市川 哲夫 池田 憲彦 田中 通	◎南条 雄士 矢野 仁志 市川 哲夫 池田 憲彦 田中 通
自由民主党 鈴鹿市議団	◎桐生 常朗 野間 芳実 森 喜代造 森 雅之 太田 龍三	◎桐生 常朗 野間 芳実 森 喜代造 森 雅之 太田 龍三
市民クラブ	◎薮田 啓介 中村 浩 大西 克美 永戸 孝之	◎薮田 啓介 中村 浩 大西 克美
鈴鹿太志会	◎平野 泰治 水谷 進 明石 孝利	◎平野 泰治 水谷 進 明石 孝利
公明党	◎池上 茂樹 藤浪 清司 船間 涼子	◎池上 茂樹 藤浪 清司 船間 涼子
市民の声	◎中西 大輔 市川 昇 田中 淳一	◎中西 大輔 市川 昇 田中 淳一
諸派 (日本共産党)	◎石田 秀三 高橋さつき	◎石田 秀三 高橋さつき
無所属	宮木 健(議長)	宮木 健(議長)

(◎: 会派等代表者)

【令和4年11月24日採決時】

【令和4年12月21日採決時】

一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

自由民主党
鈴鹿市議員

森 喜代造 議員

野良猫(飼い主のいない猫)対策について

(質問) 本市の現状と補助について問う。

(答弁) 動物愛護管理法が改正され、人と動物が安全・快適に共生できるように、また殺処分に至る猫の数を少なくするように取り組んでいる。補助については、三重県動物愛護推進センター「あすまいる」において、野良猫を対象としたTNR先行型地域猫活動にて、避妊・去勢手術を行っているが、本市では、飼い猫への手術の一部補助は行っているものの、野良猫へは行っていないため、今後、他市の状況を見極め対応を検討していきたい。

その他の質問 ○マイナンバーカード



新緑風会

河尻 浩一 議員

未来の子どもたちの支援について(教育・福祉)

(質問) ①5歳児健診の仕組みとフォローアップについて、②教職員の働き方について問う。

(答弁) ①5歳児健診事業は、おおむね良好に実施している。健診後の各機関との連携などは、今後も児童発達支援センターや放課後等デイサービスとの連携を強化していく必要があるため、福祉と教育の連携の推進をなお一層図っていく。②給食費の公会計化を令和4年9月から開始し、学校現場から負担軽減につながったとの声も聞いている。今後は徴収率向上に向けて取り組みながら、引き続き教職員の働き方改革に努めていく。



市民の声

中西 大輔 議員

財政運営について

(質問) 直近10年で自由度を持って政策に用いることのできた金額の推移と、今後の動向について問う。財源確保に地域手当の見直しをしようか。

(答弁) 過去10年で最少は平成29年度の約23億円、最多は令和3年度の約46億円。増減する推移の要因は、上昇傾向の経常的経費に対し、経常一般財源が一定で推移していないため。地域手当のみならず、給与改定に当たっては、市民への説明責任を果たせるよう適切に対処する必要があると考えている。

その他の質問 ○空き家・空き地対策



諸派
(日本共産党)

石田 秀三 議員

青少年の森の環境保全について

(質問) 公園内のサッカースタジアム建設計画は白紙撤回となった。予定地を取り囲んで設置され、7カ月も市民を立ち入り禁止にしてきたフェンスは、公園の値打ちを大きく損ねている。一日も早く全面撤去し、公園を元の姿に戻されたい。

(答弁) サッカースタジアム建設の中止を依頼したことから、本市と運営事業者との協定を解除し、予定地を原状回復して県への返還を協議する中で、フェンスを撤去していく。

その他の質問 ○公共交通計画 ○重要な公文書の取り扱い



市民クラブ

藪田 啓介 議員

消防団と消防職員の業務について

(質問) 本市においても大学生消防団員が活動されており、若い世代の参加は素晴らしいことと考えるが、今後の本市としての取り組みはどうか。また、365日24時間勤務体制の消防職員の働き方改革についてはどうか。

(答弁) 大学生消防団員は在籍期間が短いなどの課題はあるが、特定の活動に参加する機能別団員として環境整備を検討していく。また、消防職員の働き方改革は、女性の職場環境の改善や業務の効率化などで家庭も地域の活動も大切にできるよう取り組んでいく。

その他の質問 ○ICT教育と学習端末



新緑風会

山口 善之 議員

AIによるフレイル予防検知について

(質問) 要介護にならないためには、フレイル予防が重要である。東京大学と三重県が連携し電力メーターからの電力データをAIで分析することで、高齢者のフレイルリスクを継続的に把握できる事業を取り入れてはどうか。早期発見・介入すれば要介護になるリスクが軽減し健康寿命延伸にもつながると考えるが見解は。

(答弁) 電力データでフレイルを検知できる画期的な仕組みについて、活用方法と併せて今後調査研究していく。

その他の質問 ○農業におけるカーボンニュートラル



学校教育への懸念と外部機関の活用

(質問) ①児童生徒の可能性を否定しない指導を。②毎日の宿題確認、定期テストの共通化などによる最低限の学力保障を。③学力向上意欲のある、外部教育機関を利用する生徒への支援を。

(答弁) ①効率的・主体的な学習にも取り組む。生徒の意思や可能性を尊重した進路指導を行う。②教科書を活用した授業改善、生徒の学習状況を小まめに確認する指導改善などを行う。③通塾率は67.3%と高いが、学力検定・習い事・私立中通学への補助は予算上難しい。

その他の質問 ○道路緑化と交通安全



買い物弱者への支援について

(質問) 近年、食料品の購入に不便や困難を感じる「食料品アクセス問題」が顕在化しつつあるが、本市の現状と対策を問う。

(答弁) 店舗に行かなくても買い物ができるように高齢者向けのデジタル機器教室を開催するなど、デジタル格差を解消する取り組みも必要であるが、デジタル化だけではなく、事業の創業支援や福祉サービスの提供、地域公共交通などによる移動手段の提供など、関係部署が情報を共有し、連携して支援していく。

その他の質問 ○小学校高学年における教科担任制



防災協定と受援計画について

(質問) 災害時には防災協定などによって他の行政機関や各種団体から人的・物的資源の支援・提供が行われるが、迅速に受援を可能としスムーズな供給活動を開始するための実効性の確保を図るため、鈴鹿市災害時受援計画の策定を急ぐべきであると考えているがどうか。

(答弁) 現在、本市の地域防災計画や災害対策本部運営要領には受援・応援に係る記載はあるが、今後においては、より実効性の確保につなげられるよう、国のガイドラインも参考にして「受援計画」の作成に取り組んでいきたいと考えている。



中高年の支援の充実について

(質問) 病気や手術などさまざまな理由で、日常生活にパッドやおむつの着用が欠かせない方が、公共施設を使いやすく、安心して来所できるよう、男性トイレの個室にサンタリーボックスの設置を求める。わかりやすい案内掲示など、公共トイレの改善への見解はどうか。

(答弁) 本庁舎の男性多目的トイレには設置しているが、男性一般トイレにも設置を進める。トイレは乳幼児から全ての方が利用するものであるため、トイレの改善、とりわけサンタリーボックスの設置に努める。

その他の質問 ○子ども支援の充実



災害拠点病院について

(質問) 災害拠点病院・災害医療支援病院である鈴鹿中央総合病院、鈴鹿回生病院の施設の建て替えに向けて市負担分積立基金を創設してはどうか。両病院には市民の医療を守っていただいているため、市から補助を行うべきと考える。

(答弁) 両病院には過去にも新設移転に伴う財政支援を実施しており、今後の建て替え計画については、両病院の運営協議会に市長・議長などが加わり議論ができるよう積極的に働きかけ、支援の在り方や方策を検討していく。

その他の質問 ○鈴鹿市の基金と市債の現状
○白子中央雨水ポンプ場(旧第三排水機場)



協働による地域づくりについて

(質問) 市内全域で条例に基づく28の地域づくり協議会が設立された。防災・福祉・教育・子ども支援・文化など、さまざまな分野で活動し市民力は確実に向上しているが、対等なパートナーのはずの行政力は向上していない。協働のための計画策定や縦割り行政の改善などスピード感を持って取り組むべき。今後の協働による地域づくりをどのように推進していくのか。

(答弁) 地域の取り組みには敬意を表する。市としても、地域づくりの協働のパートナーとして適切な役割分担を果たせるよう、これまで以上に努力をする。



本市の歳入増加策について

(質問) 4年間の不納欠損額は約11億2,000万円、収入未済額の4年間の平均は約32億円、大切な財源であることから徴収の方法や取り組みについて関係部局の所見を問う。

(答弁) 不納欠損は調査の結果、無財産、生活困窮、行方不明などやむを得ない事情により欠損処分となるもの。滞納額については、催告書送付や納付機会拡充などにより自主納付・納期限内納付につなげている他、納付相談に応じていただかず納付の無い方には、差押え処分などを行う。今後も徴収を強化し不納欠損額の抑制に努める。



生徒指導と子どもの権利について

(質問) 国は12年ぶりに、生徒指導の手引書である「生徒指導提要」を改訂した。画期的な内容が「不適切な指導」の項目で、「指導死」で子どもを亡くした遺族の取り組みがきっかけとされる。改訂を踏まえ、今後の取り組みを問う。

(答弁) 体罰は言うまでもなく、部活動でも「威圧的、感情的」、「事実確認が不十分」な指導や、「殊更に児童生徒の面前で叱責する」などを不適切な指導の具体例として示し、決して許されないとしている。今後は生徒指導主事、教職員への研修に加え、部活動指導員へも指導助言を行う。



学制150年に鈴鹿市の教育発展を

(質問) 日本は学制150年を迎え、本市としても教育発展を期する契機である。成績向上が見込まれる習熟度別学習の現状は。また、補助事業終了後の習熟度別学習への対応は。

(答弁) 三重県「ICTを活用したわかる授業推進事業」モデル校として小学校3校、中学校1校が実践研究を行っている。事業終了後もコースの分け方や指導の工夫について市内の実践取り組みなどを他の学校へ広げたり、少人数での習熟度別指導の充実を図っていく。

その他の質問 ○通園バスや市内保育士の状況 ○職場のハラスメント



大木中学校新校舎について

(質問) 大木中学校新校舎の防災機能の詳細と、新校舎の内覧会の予定は。

(答弁) 大木中学校は津波避難ビルに指定されており、新校舎は約2,700人の避難が可能。新校舎南側には畳50帖のクラブハウスを建築し、災害時は避難スペースとして活用可能。また、プロパン庫を設置し、災害時は避難所の炊き出しなどに利用する。内覧会は令和5年3月30日午前10時に学校・地域・工事関係者および令和4年度大木中学校3年生の希望者向けに、同日午後1時に一般市民向けに開催予定。

その他の質問 ○教員不足



生活保護行政について

(質問) 生活保護利用者が就労収入の未申告などで不正受給となった場合の月々の返金額は、高額な上限額から決めず下限の国基準金額から利用者に寄り添って決めるよう改善を求める。取り立てを優先せず、憲法25条の健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立を助長する生活保護制度の原点に立ちかえることを求める。

(答弁) 厚労省通知では、保護受給者の同意を得て自立助長にも十分配慮し判断することとされており、今後も寄り添った対応を心掛ける。

その他の質問 ○男性トイレのサニタリーBOX設置



子どもの負担軽減対策について

(質問) 保護者の経済的負担軽減や、成長期にある子どもの背骨の健康を守るため、ランドセルに代わる軽量なカバンの導入について聞く。また、熱中症対策として小中学校へのウォータークーラー設置が必要と考える。

(答弁) ランドセルは軽量化や背負いやすさなど年々改良されている。ランドセルで登校しなければならないという規定はない。また、ウォータークーラー設置について、子どもたちへのアンケート調査時期など今後考えたい。

その他の質問 ○ため池の有効活用
○スケートパーク



清掃センターについて

(質問) 基幹的設備改良工事で延命化を行ったが、今後の清掃センターの稼働についてどのように考えているのか。

(答弁) 本市の将来におけるごみ発生量の予測などから、適正な施設規模を検討するほか、現在採用しているDBO方式をはじめ、その他のPFI手法を検討するなど、次期清掃センターの基本構想の準備を総合的に進めていくとともに、現施設についても安全かつ適正に運営していく。

その他の質問 ○南部地域の小学校の再編



各委員会での主な議案審査状況、討論および一般質問の記事に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画（YouTube）をご覧いただけます。



第12回議会報告会を開催しました

令和4年10月17日に、市役所本館12階会議室において、第12回議会報告会を開催しました。コロナ禍の影響により、3年ぶりの開催となりましたが、70人の方々にご参加をいただきました。

前半は各委員会の所管事務調査事項の報告を行い、後半は参加者の皆さまから議会に関するご意見を広くお伺いする意見広聴を行いました。皆さまから頂いたご意見は、今後の議会運営の参考にさせていただきます。



各委員会からの報告内容



総務委員会
「災害時の避難所対応について」



文教環境委員会
「部活動の地域移行について」



地域福祉委員会
「重層的支援体制について」



産業建設委員会
「土地利用と企業誘致について」



議員定数及び報酬検証特別委員会
「議員定数及び報酬について」

詳細は動画（YouTube）
をご覧ください。

議会報告会の実施結果（アンケート結果含む）および当日配付資料は、市議会ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



実施結果



当日配付資料

議員定数を削減します

令和4年12月21日の12月定例議会本会議において、委員会発議案第5号「鈴鹿市議会議員定数条例の一部改正について」を賛成多数（賛成25・反対3）で可決したことにより、**本市議会の議員定数を現行の32人から4人減員し、28人とすることが決定しました。**議員定数の改正は、平成11年4月の改選時に、34人から32人に2人減員して以来、24年ぶりとなります。

なお、本条例は、公布の日（令和4年12月21日）から施行し、同日以降初めてその期日を告示される一般選挙から適用するため、**令和5年4月23日に予定されている市議会議員選挙からの適用**となります。

議員定数及び報酬検証特別委員会 調査報告

議員定数及び報酬検証特別委員会では、令和4年6月29日の設置以降、約5か月間で6回の委員会を開催し、本市議会における適正な議員定数および議員報酬について、調査研究を進めてきました。

委員会では、本市の現状把握および他市議会との比較などを踏まえ、各会派などの意見を集約しながら委員間討議を進め、11月の委員会で調査報告書を取りまとめた上で、12月定例議会本会議初日の11月24日に、池上茂樹委員長から議長に対して調査研究の報告を行いました。



委員長報告
11月24日

調査報告書総括（抜粋）

本市議会における適正な議員定数及び議員報酬を調査研究するに当たり、6回にわたる会議の中で、活発な委員間討議を行うとともに、議員研修会の開催、議会報告会における市民からの意見広聴を実施した。

二元代表制の一翼を担う市議会は、執行機関に対する監視機能を効果的に発揮していくことは当然のことながら、多様な民意を反映させ、政策立案や議会改革に積極的に取り組むことが求められている。今回、本委員会においては、本市における人口減少・少子高齢化の現状、他市議会との比較、常任委員会における適正な委員定数、市民からの様々な意見等を総合的に勘案し、本市議会における適正な議員定数を、採決の

結果、現行の32人から4人減員し、28人とすべきであるという最終的な結論を導き出した。

しかしながら、議員定数を削減することにより、議会の役割を低下させることがないように、今後も議員一人ひとりの不断の努力により、自身はもとより本市議会全体の資質向上に努めるとともに、引き続き議会改革、議会の活性化を図り、市民から信頼される開かれた議会を目指すことを申し上げ、議員定数及び報酬検証特別委員会の報告とする。

調査報告書は、市議会ホームページに全文を掲載しています。ぜひご覧ください。



議員定数及び報酬検証
特別委員会
YouTubeページ



（注）スマートフォンなどによる視聴は、パケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信業者から高額な料金を請求される場合がありますので特にご注意ください。

令和4年度 市政への提言

総務・文教環境・地域福祉・産業建設の4つの常任委員会では、それぞれの所管事務について調査研究を行ってきました。その調査研究した成果を、令和5年度の予算編成や政策決定の参考として市政に反映されるよう、令和5年1月16日に正副議長および各常任委員会委員長から、市長に対して提言書を手渡しました。

提言書および各委員会の調査報告書は、市議会ホームページに全文を掲載しています。ぜひご覧ください。



※写真撮影のためマスクを外しています。

総務委員会

1 災害時の避難所対応について

- ①誰もが安心して過ごせる避難所を運営するに当たり、女性への配慮が必要なことから、女性の視点を取り入れた防災ハンドブックの作成を検討すること。また、障がい者など配慮が必要な方への対策を講ずること。
- ②災害時にはプライバシーの確保のほか、コロナ禍の影響で、避難所の密を避ける手段として、車中泊での避難を選ぶ被災者が多くなることが想定されることから、車中泊避難の受け入れの対応を検討すること。
- ③地域住民による避難所開設・運営を目指すためには、地域の防災意識向上を図ることが必要であり、実災害を想定した地域の防災訓練を定期的に行うことが有効であることから、地域主体の防災訓練を支援すること。
- ④現在の情報伝達手段の充実に併せ、ハザードマップをより身近に分かりやすく活用するために、災害関連情報をインターネット上で簡単に閲覧できるWeb版ハザードマップの作成を進めること。



防災訓練の様子

2 消防力の向上について

- ①令和8年度からの津市、鈴鹿市、亀山市の消防指令業務の共同運用に向けて、市域境界付近の災害に対して各市が所有する車両を有効に活用できるような対応を整えるとともに、減員の対象となった職員に対して、再配置の計画や複雑多様化する消防業務に対応するため専門性の高い新たな人材育成が行えるように、課題点を検証し、着実に準備を進めること。
- ②DXの推進に向けて、本市の課題などを検証するとともに、先進地の状況を調査するなど、行政手続きのオンライン化、キャッシュレス化、ペーパーレス化の導入を進めること。



文教環境委員会

1 地域新電力会社の設立について

- ①原油価格の高騰や円安、世界的な政情不安等により、厳しい経営環境になる事が懸念される。このような社会経済情勢の中、地域新電力会社を持続可能なものにするため、事業者任せにせず、堅実な経営を行うこと。
- ②地域新電力会社を、市全体で推進する「ゼロカーボンシティ」の取組みにどのように位置づけるのかを明確にし、「ゼロカーボンシティ」実現に貢献が出来るような事業展開を進めていくこと。



地域新電力会社
「鈴鹿グリーンエナジー㈱」
のロゴマーク

2 部活動の地域移行について

- ①生徒、保護者、教員にアンケート等を実施し、それぞれの要望や意見を把握するとともに、教員の時間外労働がどのように減少するかなど、詳細なデータを元に検証した上で、まずは、部活動の目的を明示すること。さらに、生徒のニーズを汲み取り、生徒の立場になって考えた、部活動の地域移行を検討すること。
- ②関係団体等との連携により、部活動の指導力がある指導者を把握し、報酬、待遇、保障等について検討すること。また、専門性や資質・能力を有する指導者をどのように確保するかを検討すること。
- ③部活動の地域移行をスムーズに進めるために、先進市の事例を参考に、部活動に精通した担当者を庁内に配置するほか、庁内外の組織体制や、運営方法を検討すること。

地域福祉委員会

1 重層的支援体制について

健康福祉部、子ども政策部、地域振興部をはじめとした庁内関係機関と、庁外関係機関が連携し、年齢・国籍を問わない市民の相談に対応できる重層的支援体制の整備に努めること。また、その際は、以下の3点について検討すること。

- ①福祉の総合相談窓口を新設し、重層的支援体制の整備を中心となって推進する担当部署を設置すること。
- ②既存の各地域包括支援センターの範囲にあわせて、地域における市民の相談支援の拠点を設置するなど、本市の現状を見つめ、本市に合った取組を行うこと。
- ③重層的支援体制に必要な不可欠なコミュニティソーシャルワーカーの充実や人材育成に取り組み、そのための財源を確保すること。

2 地域づくりについて

- ①地域づくり政策において、世代や属性を超えて交流できる場や居場所の整備に取り組むこと。

3 児童虐待防止への取組について

- ①地域や関係機関からの情報を素早く捉え、寄り添うアウトリーチ支援を行うこと。



オレンジリボン
(子ども虐待防止)

4 多様な言語を背景とする外国籍の方への対応について

- ①外国人市民への情報発信を強化すること。
- ②外国籍の子どもの支援について、困り事を抱える方や、保育所・園、幼稚園、学校への支援に力を入れること。

産業建設委員会

1 土地利用と企業誘致について

- ①鈴鹿市都市マスタープランの改定に当たり、土地利用が促進される計画となるよう民間企業への調査結果等を反映すること。
- ②企業誘致について、工場等だけでなくサテライトオフィス等の誘致も視野に入れて本市の特性を効果的にPRするとともに、金融機関等を訪問して企業の動向を積極的に情報収集し、県等とも連携することで多様な企業の誘致に取り組むこと。



鈴鹿市企業誘致
リーフレット

2 官民共創による暮らし目線の地域交通について

- ①地域住民の実情に応じてコミュニティバスの路線やダイヤ、運賃体系等を抜本的に見直すこと。
- ②福祉部門をはじめ市内での連携や、民間企業等との共創によって多様な移動ニーズにこたえる地域交通の実現を図るとともに、オンデマンド交通等といった新たな手法も導入し、市民の利便性の更なる向上に取り組むこと。

3 モータースポーツ振興を通じた地域の活性化について

- ①モータースポーツ振興が市内全体の経済効果に波及するよう産学官金等の関係者を交えた新たな協議の場を設けるとともに、eモータースポーツによる新たなファン層の獲得など更なるシティセールスに取り組むこと。
- ②小中学校の児童生徒がモータースポーツやeモータースポーツに触れる機会を設けるなど、モータースポーツが文化として根ざすように取り組むこと。

4 雨水対策について

- ①浸水被害が発生している地域の浸水の解消のため、ポンプ等の施設や側溝・水路等の整備を図り、併せて、流入する水が最終的に排出される幹線河川等についても、着実に整備を行うこと。
- ②雨水の公道への流出抑制や市街地における浸水被害の予防を図るため、事業者による宅地開発等の際には行政が適切に指導を行うこと。

前年度提言事項の検証シートを公開します

各委員会における所管事務調査に係る前年度提言事項の検証については、1月または2月に開催する各委員会において、行政の担当部局から事業の進捗状況などを聞き取り、検証を実施しています。検証した内容については、各委員会の会議録を閲覧することで確認していただくことができますが、検証結果を市民の皆さまにより分かりやすくお示すために、昨年度から、各委員会で「検証シート」を作成し、市議会ホームページで公開しています。

各委員会の検証シートは、[市議会ホームページ](#)に全文を掲載しています。
ぜひご覧ください。



議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会にお越しください

本会議や委員会などの傍聴をするときは、市役所本館14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。本会議の傍聴受け付けは先着順です。本会議以外の傍聴受け付けは、開会30分前から開始し、同10分前に締め切ります(締め切り時点で傍聴希望者が定員を超える場合は、抽選により決定します。)

なお、会議の開催予定は、市議会ホームページや市役所掲示板などでお知らせします。



本会議場：定員53名



委員会室：定員10名

音声を聞き取りにくい方に

議場傍聴席にて音声を聞き取りにくい方には、ヘッドフォンを貸し出していますので議会事務局へお申し付けください。



また、手話通訳と要約筆記をご希望の方は、事前にお申し付けください。



議会に来られなくても…

●本会議をライブ中継しています

本会議の様子をケーブルテレビ(CNS・112ch)とYouTube(市議会ホームページからご覧いただけます。)でライブ中継しています。放送時間は午前10時(開会時間)から会議の終了までです。

●本会議の録画映像を配信しています

ライブ中継した本会議の映像をYouTube(市議会ホームページからご覧いただけます。)で録画配信しています。※録画映像がアップロードされるまでに数日を要します。

●委員会などの録画映像を配信しています

委員会などの映像をYouTube(市議会ホームページからご覧いただけます。)で録画配信しています。※録画映像がアップロードされるまでに数日を要します。

●会議録でもっと詳しく

会議の詳しい内容については、市役所本館14階の議会図書室と4階の情報公開コーナーで会議録の閲覧ができます。また、本会議の会議録は、市立図書館や各地区市民センターなどでも閲覧できます。なお、会議録は市議会ホームページで公開しています。※12月定例議会の会議録は、2月下旬に配置予定です。

皆さまのご意見などをお聴かせください

市議会や市議会だよりに対する皆さまのご意見・ご提案・ご要望をお聴かせください。今後の参考にさせていただきます。

宛先は

鈴鹿市議会事務局

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号
TEL:059-382-7600 FAX:059-382-4876
mail:giji@city.suzuka.lg.jp

新型コロナウイルス感染症対策のためご協力ください

- ・議場および委員会室の傍聴入り口などに設置してある消毒液をご利用ください。
- ・咳や発熱などで体調の優れない方は傍聴をお控えください。



2・3月の会議日程

(注)日程は変更される場合があります。

2月				3月							
21日	火	10:00	本会議(提案説明)	3月	14日	火	10:00	文教環境委員会(分科会)※ 産業建設委員会(分科会)※			
22日	水	14:00	議会運営委員会		15日	水	10:00	総務委員会(分科会)※ 地域福祉委員会(分科会)※			
2日	木	10:00	本会議(質疑・一般質問)					16日	木	10:00	常任委員会予備日※
3日	金	10:00	本会議(一般質問)		20日	月	10:00				予算決算委員会 各派代表者会議(予算決算委員会終了後)
6日	月	10:00	本会議(一般質問)					23日	木	13:00	広報広聴会議(各派代表者会議終了後)
8日	水	10:00	本会議(一般質問) 議会運営委員会(本会議終了後) 各派代表者会議(議会運営委員会終了後)								24日
9日	木	10:00	本会議(一般質問・追加議案等・委員会付託) 予算決算委員会(本会議終了後)		本会議(委員長報告・討論・採決) 全員協議会(本会議終了後)						
10日	金	10:00	文教環境委員会(分科会) 産業建設委員会(分科会)		議会だより編集会議(全員協議会終了後)						
13日	月	10:00	総務委員会(分科会) 地域福祉委員会(分科会)								